

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

高知工科大学 マネジメント学部

注2

設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 高知工科大学
平成21年5月1日現在

作成担当者	
部署・役職	企画広報部長
氏名	フクダ ナオフミ 福田 直史
電話番号	0887-53-1110
(夜間)	0887-53-1110
F A X	0887-57-2000
e-mail	fukuda.naofumi@kochi-tech.ac.jp

(注)1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 . . . 」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「 大学 」
- ・学部の設置の場合：「 大学 学部 」
- ・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科 」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科 」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科 」
- ・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科 (通信教育課程) 」

— 書類目次 —

	Page
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	4
3 施設・設備の整備状況, 経費 (省略)	12
4 既設大学等の状況 (省略)	13
5 教員組織の状況 (省略)	14
6 留意事項に対する履行状況等	27
7 その他全般的事項	28

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

※

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 高知工科大学
(H21.1.9 設置者変更認可申請書を提出。H21.3.19に認可。)

~~学校法人 高知工科大学~~

(2) 大学名

高知工科大学

(3) 大学の位置

〒782-8502

高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(ハシモト ダイジロウ) 橋本 大二郎 (平成8年11月)	(トオゴウ キヨシ) 十河 清 (平成20年4月)	理事長の辞任 (20)
		(オカムラ ハジメ) 岡村 甫 (平成21年4月)	設置者変更に伴う 理事長の変更 (21)
学長	(オカムラ ハジメ) 岡村 甫 (平成13年4月)	(サクマ タケト) 佐久間 健人 (平成20年4月)	学長の辞任 (20)
学部長	(トミサワ オサム) 富澤 治 (平成20年4月)		
学科長等	(ナス セイゴ) 那須 清吾 (平成20年4月)		

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する内容 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
マネジメント学部 マネジメント学科 学士(マネジメント)	年 4	人 100	年次 人 -	人 400	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員		(-)人 100	(-)人 100			0.97 倍	
志願者数		(-)人 129	(-)人 964				
受験者数		(-)人 126	(-)人 942				
合格者数		(-)人 102	(-)人 174				
B 入学者数		(-)人 77	(-)人 118				
入学定員超過率 B/A		(-)人 0.77	(-)人 1.18				

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次		[] 77	[] 118	[]	[]	
2年次		/	[] 76	[]	[]	
3年次		/	/	[]	[]	
4年次		/	/	/	[]	
計		[] 77	[] 194	[]	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [0] 0	計 [77] 77人	[0%] 0 %
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 77人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0] 1	計 [195] 195	[0%] 0.0 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 77人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 118人	
	(主な退学理由) 進路変更		
平成22年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

< マネジメント学部 マネジメント学科 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	検証：日本の都市	1前・後		1								
	都市問題	1前・後		1								
	人権問題	1前・後		1								
	日本国憲法	1前		2								
	地域共生概論1											科目追加（地域共生概論2）による名称変更（21）
	地域共生概論	1前		2		1					教育課程充実のため科目を追加（20）	
	地域共生概論2	2後		1		1						教育課程充実のため科目を追加（21）
	文化としての戦略と戦術	1後		2								教育課程充実のため科目を追加（20）
	現代日本社会における音楽											放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	音楽理論の基礎	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加（20）
	歴史と人間	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加（20）
	企業戦略と企業文化	1・2・3後		2								教育課程充実のため科目を追加（20）
	生命と人生の倫理	1・2・3後		2								
	21世紀の社会学	1・2・3後		2								
	基礎心理学	1前・後		2								教育課程充実のため科目を追加（20）
	教育社会学	1・2・3後		2								
	技術者倫理	1・2・3後		2								
	問題発見と解決の技法											
	問題解決の発想と表現	1・2・3後		2								放送大学開講科目の名称変更（20）
	哲学への誘い											放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)
	自己を見つめる	1・2・3後		2								
	社会福祉入門	1・2・3後		2								
	人文地理学	1・2・3後		2								
	世界の名作を読む	1・2・3後		2								
	人類の歴史・地球の現在	1・2・3後		2								
	道徳教育論	1・2・3後		2								
	21世紀の女性と仕事	1・2・3後		2								
	日本語表現法	1・2・3後		2								
	初歩のアラビア語											教育課程充実のため科目を追加(21)
	-アラブイスラムへの招待-	1・2・3後		2								
	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後		2								
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後		2								
フランス語入門Ⅰ	1・2・3後		2									
フランス語入門Ⅱ	1・2・3後		2									
中国語入門Ⅰ	1・2・3後		2									
中国語入門Ⅱ	1・2・3後		2									
韓国語入門Ⅰ	1・2・3後		2									
韓国語入門Ⅱ	1・2・3後		2									
体育理論	1前・後		1									
体育実技	1前・後		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	文化としての日本のうた	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)	
	考古学研究	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)	
	人文科学特別講義1	1前		1								教育課程充実のため科目を追加(21)	
	知的財産権と特許	3前		2									
	国際協力フロンティア	1前		2									
		2前											科目の効果的配置による教育課程充実のため配当年次を変更(20)
	技術と安全	1前		2									
	Reading/Listening 1	1前		1									
	Reading/Listening 2	1前		1									
	Science English	1後		1									
	Science Lab	1後		1									
	Thinking in English 1	2前		1									
	Thinking in English 2	2前		1									
	Science Reading1	2後		1									
	Science Reading2	2後		1									
	Global Citizen	3前		2									
	Business English	3後		2									
	Technical Reading	3後		2									
	Technical Writing	3前		2									
	TOEIC	3通		2									
	スタディスキルズ1	1前		2									
	スタディスキルズ2	1後		1									
	キャリア・プラン基礎	2前		1									教育課程充実のため科目を追加(21)
	キャリア・プラン1	3通		1									
	キャリア・プラン2	3後		1									
	チャレンジポイント1	1・2・3通		1									
	チャレンジポイント2	1・2・3通		1									
	教養の物理学1	1前		2									
	教養の物理学2	1前		2									
	現代化学の基礎	1後		2									
	生命科学	1後		2									
	口腔科学	1前		1									教育課程充実のため科目を追加(21)
	応用化学概論	2後		2									
	ヒトの生物学	2後		2									
	宇宙とその歴史	1・2・3後		2									「教養の物理学1」で対応可能なため廃止(21)
	エネルギー学の基礎	1・2・3後		2									放送大学科目の閉講に伴い科目変更(20)
エネルギー工学と社会	1・2・3後		2									教育課程充実のため科目を追加(20)	
身近な統計	1・2・3後		2									教育課程充実のため科目を追加(20)	
科学的な見方・考え方	1・2・3後		2									教育課程充実のため科目を追加(20)	
技術革新を支える物質の科学	1・2・3後		2									教育課程充実のため科目を追加(21)	
バイオサイエンスで豊かな暮らし												放送大学科目の閉講に伴い科目変更(21)	
生物学の歴史	1・2・3後		2									教育課程充実のため科目を追加(20)	
変化する地球環境	1・2・3後		2										
宇宙像の変遷と科学	1・2・3後		2										
物質の科学と先端技術	1・2・3後		2										

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	基礎数学 1	1前		1							
	基礎数学 2	1前		1							
	基礎数学演習	1前		1							
	数学 1	1前		2							
	数学 2	1前		2							
	数学 3	1後		2							
	数学 4	1後		2							
	数学 5	2前		2							
	数学 6	2前		2							
	数学 7	2後		2							
	数学 8	2後		2							
	コンピュータリテラシー	1前		2			1	2			
	情報科学 1	1前		2							
	情報科学 2	1後		2							
情報科学 3	1後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	経営学	1前		2			1					
	マーケティング論	1前		2		1						
	会計総論	1前		2			1					
	簿記Ⅰ	1後		2			1					
	危機管理概論	1後		2								留意事項に対応し科目を追加 (20)
	イノベーション論	1前		2		1						
	リーダーシップ論	1前		2								
		2後										留意事項に対応し配当年次を変更 (20)
	経営史	1後		2					1			留意事項に対応し専任教員を採用 (21) 担当 生島 淳 (講師) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
	企業論	2前		2			1					
	資本市場の役割と証券投資	2後		2								留意事項に対応し科目を追加 (21)
						8		4				
	セミナーⅠ	1前		2		9	3	3				専任教員(教授)の退職 専任教員(講師)の追加 (21) 担当 生島 淳 (講師) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
						8		4				
	セミナーⅡ	1後		2		9	3	3				専任教員(教授)の退職 専任教員(講師)の追加 (21) 担当 生島 淳 (講師) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
						8		4				
	セミナーⅢ	2前		2		9	3	3				専任教員(教授)の退職 専任教員(講師)の追加 (21) 担当 生島 淳 (講師) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
						8		4				
	セミナーⅣ	2後		2		9	3	3				専任教員(教授)の退職 専任教員(講師)の追加 (21) 担当 生島 淳 (講師) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)
						8		4				
	プログラミング基礎	1後		2				1				
	統計学	1後		2				1				
	プレゼンテーション・ディベート入門	1前		2								
	システム解析	2後		2		1						
	プログラミング実践	2前		2				1				
	計測と統計	2前		2				1				
	オペレーションズリサーチ	2前		2				1				
	プロジェクト評価	2後		2		1						
簿記Ⅱ	1後		2			1						
経営管理論	2前		2			1						
経営情報システム論	2後		2			1						
社会システム経営論	2前		2		2							
プロジェクトマネジメント	2後		2		2							
					2							
リスクマネジメント	2後		2		1						担当者の退職(21) (健康上の理由のため退職したが、 非常勤講師として対応) 新たに専任を追加し、オムニバス 講義へ変更 (21) 担当 ・松本 平八 (兼任) ・渡邊 法美 (専任) ・渡辺 泰明 (専任) 平成21年6月 変更書提出予定	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ビジネスプラン	2前		2		1						
	ビジネス法	2後		2								
	企業倫理	2後		2								
	コンピュータ会計論	2前		2			1					
	人的資源管理	2後		2								
	企業立地論	2後		2								
	原価計算	3前		2		1						
	国際会計論	3前		2			1					
	財務会計論	3前		2		1						
	マーケティング戦略	3前		2		1						
	ブランドマネジメント	3前		2		1						
	生産・品質管理	3前		2		1						担当者の退職(21) (健康上の理由のため退職したが、 専任から兼任として対応)
	流通システム論	3後		2								
	経営組織論	3後		2			1					
	国際経営学	3後		2		2						
	マネジメントゲーム	3後		2		1						
	投資戦略論	3後		2					1			
	経営システム特別講義	1~4 (随時)		2		1						
	地域活性化システム論Ⅰ											内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	地域再生システム論Ⅰ	1後		2		1						留意事項に対応し科目を追加(20) 〔担当 那須 清吾(教授) 平成20年6月 変更書提出予定
	マクロ経済学	2後		2		1						
	公共経済学	2前		2								
	公共経済学演習	2前		2								
	金融論	2後		2		1						
	インターンシップⅠ	2前		2					1			
	産業構造論	3前		2								
	ファイナンス論	3前		2		1						
	インターンシップⅡ	3前		2					1			
	地理情報論	3後		2								
	NPO論	3前		2		1						
	地域活性化システム論Ⅱ											内閣府の事業に合わせ名称変更(21)
	地域再生システム論Ⅱ	3後		2		1						留意事項に対応し科目を追加(20) 〔担当 那須 清吾(教授) 平成20年6月 変更書提出予定
環境経営	3後		2		1							
都市環境論	3前		2									
社会マネジメントセミナーⅠ	3前		2		2			2				
社会マネジメントセミナーⅡ	3後		2		2			2				
都市・行政経営	4後		2		1							
地域産業振興論	4前		2		1							
知的資産マネジメント	3後		2		1						担当者の退職(21) (健康上の理由のため退職したが、 専任から兼任として対応)	
起業マーケティング	3後		2		1							
起業マネジメントセミナーⅠ	3前		2		3						担当者の退職(21) (健康上の理由のため退職)	
起業マネジメントセミナーⅡ	3後		2		3						担当者の退職(21) (健康上の理由のため退職)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	起業論	4前		2		1						<p>専任教員（講師）の追加（21） 担当 生島 淳（講師） 平成21年1月 教員審査済 判定 可（21）</p> <p>専任教員（講師）の追加（21） 担当 生島 淳（講師） 平成21年1月 教員審査済 判定 可（21）</p> <p>専任教員（教授）の退職 専任教員（講師）の追加（21） 担当 生島 淳（講師） 平成21年1月 教員審査済 判定 可（21）</p>
	技術経営論	4前		2		1						
	多国籍企業論	3後		2		1						
	企業価値評価	3後		2		1				2		
	企業マネジメントセミナーⅠ	3前		2		3	3			1		
	企業マネジメントセミナーⅡ	3後		2		3	3			2		
	金融工学	4前		2		1				1		
	経営戦略論	4前		2					1			
	プロジェクト研究	4通		8		8				4		
						9	3			3		

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	<p>選択科目数・合計科目数 160から168へ増加（21）</p>
	148	0	148		168		168	
					160		160	
				[20]	[20]		[20]	
				[]	[12]	[]	[12]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	経営史	2	2 1	一般	選択	専任教員を採用、2年次科目として開講 (21) 配当年次1年次から2年次へ変更 (20)
2	技術と安全	2	2 1	一般	選択	2年次科目として開講 (21) 配当年次1年次から2年次へ変更 (20)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	エネルギー工学と社会	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替として「エネルギー学の基礎」を追加 (20)
2	自己を見つめる	2	1・2・3	一般	選択	放送大学科目の閉講に伴い廃止。代替として「哲学への誘い」を追加 (21)
3	宇宙とその歴史	2	1・2・3	一般	選択	「教養の物理学1」で対応可能なため廃止 (21)

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「経営史」については、留意事項への対応（2年次までの専任補充）を行うため、1年次科目から2年次科目へと配当年次を変更した。1年次科目には「経営学」、「マーケティング論」、「会計概論」、「イノベーション論」等のマネジメントの専門基礎科目を配置しており、「経営史」はこれらの科目を学習した上で修得させる科目でもあることから、体系立てたカリキュラム編成に問題はないと判断した。

「技術と安全」については、実験・実習等を行う上での安全教育でもあり、実際の実験・実習が行われる2年次に変更することで、より教育効果を高める為に、開講年次を変更した。

「エネルギー工学と社会」については、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとして、「エネルギー学の基礎」を追加する。教養課程としての大学共通科目であり、シラバスから判断しても、設置計画当初の目的を十分達成できると判断した。(20)

「自己を見つめる」について、放送大学科目の閉講に伴い廃止するが、代替えとして、「哲学への誘い」を追加する。また、放送大学科目「宇宙と歴史」に関しては、「教養の物理学1」で対応可能であり、設置計画当初の目的を十分達成できると判断したため、廃止とした。

なお、学生への周知としては、時間割やシラバス等で告知を行うと共に、1年次から開講するセミナーを通して周知し、同時に履修指導を行うアドバイザーから説明を行う。(21)

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	3	=	0.02
認可時の計画の授業科目数の計	148		

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
 なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (19年12月)	1. 基礎的な科目を必修にすること。また、基礎的な科目を補充しているが不十分なので、さらに追加すること。	専門科目として「危機管理概論」、「地域再生システム論Ⅰ」、「地域再生システム論Ⅱ」を新たに追加。(20)	履修を必須とする科目を設定し、対応。
		専門科目として「資本市場の役割と証券投資」を追加。また、平成20年度に追加した「地域再生システム論Ⅰ」、「地域再生システム論Ⅱ」の名称を内閣府の事業に合わせそれぞれ「地域活性化システム論Ⅰ」、「地域活性化システム論Ⅱ」とした。(21)	
	2. 経営学関連の専任教員について補充された教員だけでは十分とは言えないので、専任教員の補充を求められた「経営史」について経営学の十分な研究業績を持つ専任教員を2年次までにさらに補充すること。	「経営史」について経営学の十分な研究業績を持つ専任教員を補充すべく、教員募集を行う。これに伴い、「経営史」を1年次科目から2年次科目へと配当年次を変更した。(20)	「経営史」担当者の専任教員について、2年次での開講に向け、平成21年1月の教員資格審査を受けるべく申請を行う予定である。(20)
		平成21年1月の教員資格審査を受け、「経営史」を担当する専任教員を採用。(21)	
設置計画履行状況 調 査 時 (20年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (20年5月)			

(注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。

2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<マネジメント学部 マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等
該当はありません。

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

本学は「教員評価システム」を導入し、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。

この学生の授業評価とは別に「The Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、授業時間の4分の1(2ヶ月間)は担当授業を配当しないことで、その前または後の休業期間を加えて、自己研鑽のためのまとまった期間とすることができる。

① 実施体制

a 委員会の設置状況 / b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) / c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していない。

「教育セミナー」・・・教育本部で実施

「研究セミナー」・・・研究本部で実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研修会としての「教育セミナー」
- ・ 研究方法についての研修会としての「研究セミナー」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

「教育セミナー」 / 「研究セミナー」

少人数で行うディスカッション中心のセミナー。

プレゼンターから、約20分間のプレゼンテーションを行い、その後70分間のディスカッションを行う。

終了後、セミナー概要を学内WEBに公開。

「授業評価アンケート」

各学期終了時に、アンケートを実施。回答率は平均して75%。この結果は学内WEBに公開。

「新任教員のための研修会」

新任教員全員を対象に、教育本部長からスクール形式での研修を実施。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

「教育セミナー」 / 「研究セミナー」

それぞれ年間10回程度開催、学科長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、希望者が参加。

「新任教員のための研修会」

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員評価、授業評価アンケートのフィードバックを行い、個々の教員が結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。

教員評価によって昇進、昇給が決定される。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・本学では開学以来、定期的な自己点検評価を行っており、今後も継続して行っていく。本年度その予定であり、これを元に2度目の認証評価を受ける予定である。なお、前回の認証評価の結果は本学ホームページで公表している。

b 公表方法

- ・「高知工科大学自己点検・評価報告書 ー大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関で認証評価を受ける予定であったが、公立大学法人への設置者変更、及び工学部の再編(届出)等があったため、認証評価機関と相談の上、平成24年度に第2回目の評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ()
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/pdf/ninka/management-ninka.pdf)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ()
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/university/ninka.htm)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。

【別紙】

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年は開設2年目を迎え、設置の趣旨・目的の達成にむけた努力を予定に沿って実施している。計画通り、1年次からセミナーを開講し、10人前後を1組とした少人数教育を開始し、昨年から学外での宿泊オリエンテーションも実施し、少人数教育の充実に向け良いスタートができています。また、今年度の宿泊オリエンテーションに関しては、昨年の経験を生かし、入学生に対し2回生の学生自らがその計画を企画し、実践した。また、参加した1回生からも好評であった。

さらに、学生に実施したアンケート調査結果によると、入学前、入学直後、さらに1年後の学生のマネジメント学部マネジメント学科に対する期待および満足度の平均値は大きく上昇しており、本学が説明してきた設置の趣旨・目的が理解され、実際に実行されていることが評価されている。

昨年立ち上げた高知県内すべての経済団体で構成する「高知マネジメントサポータークラブ」協力による「経営システム特別講義」、高知県警察本部の協力による「危機管理概論」等、会社経営者やその分野の専門職の方が実際に講義をするなど、全面的な協力をいただいた。またそのことにより、地元産業界とのつながりもさらに強固になり、昨年度に引き続き、「地域活性化システム論Ⅰ、Ⅱ（今年度より内閣府の事業名変更に合わせて、地域再生システム論Ⅰ、Ⅱから名称変更）」の講義等にも積極的に協力していただくことになっている。

今後も、設置の趣旨の実現に向け、様々な努力を続けていく。